

医療情報の研究利用について

研究の課題名	ダブルバルーン内視鏡を用いた大腸ESD時における新型スコープホルダーの有用性
研究の責任者(当院)	消化器内科 川村健太郎
研究の対象者	当院でダブルバルーン内視鏡による内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を施行した患者
研究の目的	新型スコープホルダーを用いることで介助スタッフの削減や、安全性が担保できるかについて検討するため。
調査対象データ該当期間	2021.11.24～2023.11.24
研究の方法 (使用する情報・試料)	上記期間にダブルバルーン内視鏡を用いたESDを施行した患者を抽出し、介助スタッフ人数、ESD施行時間、合併症の有無について調査した。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	代表電話:0134-24-0325 倫理委員会事務局
備考	研究に同意しないこと又は同意を撤回することによって不利益な取扱いを受けることはありません。 個人の情報として今までの検査結果を開示することは可能です。請求人は原則的に協力者本人とし、本人以外からの請求の場合本人直筆の委任状が必要になります。開示を希望する場合、上記の問合せ先までご連絡ください。

